

PTAニュース

No 4

令和4年7月 PTA本部



蝉の声が朝からにぎわう毎日ですが、皆さん暑さで体調を崩されていませんか。
夏休みが始まりますが、子どもたちが暑さに負けず元気に過ごせることを期待しています。



❖熱中症対策として、経口補水液OS-1を購入しました。
500mlのペットボトル96本を飲料販売のお仕事をされている保護者の方が直接学校まで届けてくださいました。
校内での熱中症対策はもちろん、部活動の大会等にも先生方に持っていきってもらい、すぐに熱中症に対応できるよう活用してもらいます。

塩分が入っていて少ししょっぱい経口補水液が「無味」「甘い」と感じたら、脱水のために味覚が変わっているからかもしれない、とされています。味覚には個人差がありますが、目安の一つになりそうですね



❖7月14日に京都国際会館において、京都府PTA指導者中央研修会がありました。

元京都精華大学の学長をされていたウスビ・サコさんの講演がありました。
アフリカのマリ共和国で生まれ育ったサコさんは、大家族で子ども時代を過ごし、欧風の教育を受けたのちに来日されました。そんなサコさんは、日本の「あの人は外国人だから」「A型の人はこちら考えるから」といった相手をフレームにはめて見ることや、スポーツを習わせる親が自分の子どもが苦手な所をなんとか平均値まであげようとする、能力の均質化を図ろうとすることに疑問を感じたそうです。

相手をフレーム化してしまい個として認めないことは、遍く自分を見つめる機会を奪うことであり、自分を認められない自信のない人は往々にして排他的な考えになり、子ども社会に限らず大人社会でもいじめを招いてしまうとのことでした。社会のグローバル化によって、世界の様々な人と出会い多様な考えに触れたときに、自分の軸を持てる人・自分に自信がある人であるために、自分を認めることは重要なことだそうです。

また、大人は正しい答えを用意して子どもの可能性をコントロールしようとせず、対話の中で子どもが思考をめぐらし答えにたどり着けるようサポートすることを重視し、子ども自らが問いを発せられるような教育をするよう心がけるべきだとのことでした。

子どものより良い教育のためには、親をはじめとする周りの大人も古い考えにとらわれず時代に合ったアップデートをしていかなくてはならないと感じました。



❖今年度の第一回「校長先生を囲む会」は動画配信を用意しました。

校長先生を始め、教頭先生、教務主任の田中先生、進路指導の川島先生に保護者からの質問に答えていただきました。「土日の部活動は学校でなくて地域でやるって本当?」「子どもが勉強しないけどどうしたらいいの?」などの質問に先生方が答えてくれています。夏休みの途中にはスクールカウンセラーの湊先生の動画もアップ予定です。

どの動画も10分程度の見やすいものですので、空き時間に手軽に見ていただけます。
期間限定配信ですので、ぜひ忘れずご覧ください！



QRコード

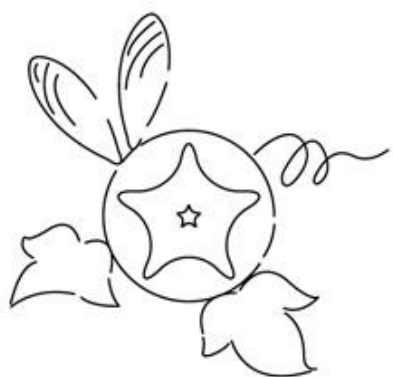
7月21日(木)～8月31日(水)の期間限定配信です。
左のQRコードを読み取っていただくか、
下記URLからご視聴ください。

* 期間限定配信のため、紙媒体のみQRコードとURLを
掲載しています。

子どもにとっては嬉しい夏休みも、親にとっては
昼食の用意や生活リズムのキープに苦心するときで
す。加えてコロナ第7波が心配され、再開されつつあ
るお祭りや夏のイベントへの参加を迷う方もいるか
と思います。

親子ともども心身ともに健康でいることを最大の
目標とし、時には休息の時間を作って子どもとのコ
ミュニケーションを楽しめるようにしたいものです。

暑い夏を皆さんが元気にお過ごしになることを
祈っています。



❖あいさつ運動変更のお知らせ

8/26(金)始業式のあいさつ運動は、9/1(木)
に変更になりました。9/1は乙訓いっせい
あいさつ運動を実施します。
よろしくお願いいたします。

